

【氏名】 島中 智恵 (はたなか ともえ)

【職位】 助教

【学位】 博士 (体育学、鹿屋体育大学)

修士 (心理学、青山学院大学)

【主な担当科目】 子どもの心理学、子ども家庭支援の心理学、保育・教育基礎研究Ⅰ、  
保育実習指導Ⅰ、保育実習指導Ⅱ、保育実習Ⅱ、ピアヘルピングの基礎

【主な研究業績】

○著書等

(なし)

○学術論文

1. 島中智恵・中本浩揮・幾留沙智・井福裕俊・森 司朗、幼児用主張行動尺度作成の試み—信頼性と妥当性の検討、パーソナリティ研究 28、233-242、2020年
2. 島中智恵・中本浩揮・幾留沙智・森 司朗、幼児期のアサーションの形成に影響を与える要因の検討—運動遊び場面での視点取得行動と共感性に着目して—、鹿屋体育大学学術研究紀要 57、111-119、2020年

○学会発表等

1. 島中智恵・中本浩揮・森 司朗、幼児期のアサーションを規定する要因—鬼ごっこ場面での行動に着目して— (ポスター発表)、日本スポーツ心理学会(筑波大学)、2019年
2. 島中智恵、幼児のアサーティブ行動と自己制御機能との関係 (ポスター発表)、日本保育学会(大妻女子大学)、2019年
3. 島中智恵・鳥羽大峻・山本健太・外越敏郎・岩下幸平・森 司朗、潜在的な利き手は存在するのか (ポスター発表)、九州スポーツ心理学会(鹿児島ビジョンホール)、2019年
4. 島中智恵・森 司朗、幼児用アサーション尺度作成の試み (ポスター発表)、日本保育学会(宮城学院女子大学)、2018年
5. 島中智恵・中本浩揮・幾留沙智・北村暢治・森 司朗、幼児の「こころ」と「からだ」のつながりについて—アサーションに関わる行動に着目して— (ポスター発表)、日本

スポーツ心理学会(大阪商業大学)、2017年

○その他 ※社会活動など

1. 高山こども園職員研修 講師、2018年